

劇薬、処方箋医薬品

子宮収縮止血剤

日本薬局方 メチルエルゴメトリンマレイン酸塩錠

メチルエルゴメトリン錠0.125mg「あすか」

子宮収縮止血剤

メチルエルゴメトリンマレイン酸塩注射液

メチルエルゴメトリン注0.2mg「あすか」

－ 医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読みください。－

「使用上の注意」改訂のお知らせ

この度、標記製品の「使用上の注意」を改訂いたしましたので、お知らせ申し上げます。
本剤のご使用に際しましては、下記の改訂内容をご参照くださいますようお願い申し上げます。
改訂内容につきましては、医薬品安全対策情報（DSU）No.312 に掲載される予定です。

2022 年 10 月

あすか製薬株式会社

改訂内容（ _____：改訂箇所、 _____：削除箇所）

改 訂 後	改 訂 前
2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） 2.1～2.5 省略 2.6 HIVプロテアーゼ阻害剤（リトナビル、アタザナビル、ホスアンプレナビル、ダルナビル）、エファビレンツ、アゾール系抗真菌薬（イトラコナゾール、ボリコナゾール、ボサコナゾール）、コビススタット含有製剤、<u>ニルマトレルビル・リトナビル</u>、<u>レテルモビル</u>、5-HT_{1B/1D}受容体作動薬（スマトリプタン、ゾルミトリプタン、エレトリプタン、リザトリプタン、ナラトリプタン）、エルゴタミン・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリンを投与中の患者 [10.1 参照]	2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） 2.1～2.5 省略 2.6 HIVプロテアーゼ阻害剤（リトナビル、<u>ネルフィナビル</u>、アタザナビル、ホスアンプレナビル、ダルナビル）、エファビレンツ、アゾール系抗真菌薬（イトラコナゾール、ボリコナゾール、ボサコナゾール）、コビススタット含有製剤、<u>レテルモビル</u>、5-HT_{1B/1D}受容体作動薬（スマトリプタン、ゾルミトリプタン、エレトリプタン、リザトリプタン、ナラトリプタン）、エルゴタミンを投与中の患者 [10.1 参照]

（次ページへ続く）

改訂後			改訂前		
10. 相互作用 本剤は主にCYP3A4で代謝される。			10. 相互作用 本剤は主にCYP3A4で代謝される。		
10.1 併用禁忌 (併用しないこと)			10.1 併用禁忌 (併用しないこと)		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
HIVプロテアーゼ阻害剤 リトナビル (ノービア) アタザナビル (レイアタツ) ホスアンブレナビル (レクシヴァ) ダルナビル (プリジスタ・プリジスタナイーブ) エファビレンツ (ストックリン) アゾール系抗真菌薬 イトラコナゾール (イトリゾール) ボリコナゾール (グイフェンド) ボサコナゾール (ノクサフィル) コビススタット含有製剤 (スタリビルド) <u>ニルマトレルビル・リトナビル (パキロビッド)</u> [2.6参照]	本剤の血中濃度が上昇し、血管攣縮等の重篤な副作用を起こすおそれがある。	本剤での報告はないが、CYP3A4の競合阻害により、本剤の代謝が阻害されるおそれがある。	HIVプロテアーゼ阻害剤 リトナビル (ノービア) <u>ネルフィナビル (ビラセプト)</u> アタザナビル (レイアタツ) ホスアンブレナビル (レクシヴァ) ダルナビル (プリジスタ・プリジスタナイーブ) エファビレンツ (ストックリン) アゾール系抗真菌薬 イトラコナゾール (イトリゾール) ボリコナゾール (グイフェンド) ボサコナゾール (ノクサフィル) コビススタット含有製剤 (スタリビルド) [2.6参照]	本剤の血中濃度が上昇し、血管攣縮等の重篤な副作用を起こすおそれがある。	本剤での報告はないが、CYP3A4の競合阻害により、本剤の代謝が阻害されるおそれがある。
レテルモビル (プレバイミス) [2.6参照]		CYP3Aの阻害作用により、本剤の代謝が阻害されるおそれがある。	レテルモビル (プレバイミス) [2.6参照]		CYP3Aの阻害作用により、本剤の代謝が阻害されるおそれがある。
5-HT _{1B/1D} 受容体作動薬 スマトリプタン (イミグラン) ゾルミトリプタン (ゾーミッグ) エレクトリプタン (レルパックス) リザトリプタン (マクサルト) ナラトリプタン (アマージ) <u>エルゴタミン・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン (クリアミン)</u> [2.6参照]	血圧上昇又は血管攣縮が増強されるおそれがある。なお、5-HT _{1B/1D} 受容体作動薬と本剤を前後して投与する場合は24時間以上の間隔をあけて投与すること。	これらの薬剤との薬理的相加作用により、相互に作用 (血管収縮作用) を増強させる。	5-HT _{1B/1D} 受容体作動薬 スマトリプタン (イミグラン) ゾルミトリプタン (ゾーミッグ) エレクトリプタン (レルパックス) リザトリプタン (マクサルト) ナラトリプタン (アマージ) エルゴタミン (クリアミン) [2.6参照]	血圧上昇又は血管攣縮が増強されるおそれがある。なお、5-HT _{1B/1D} 受容体作動薬と本剤を前後して投与する場合は24時間以上の間隔をあけて投与すること。	これらの薬剤との薬理的相加作用により、相互に作用 (血管収縮作用) を増強させる。
10.2 省略			10.2 省略		

以上

～ 最新の添付文書はこちらから ～

メチルエルゴメトリン錠0.125mg「あすか」


(01)04987123504454



メチルエルゴメトリン注0.2mg「あすか」


(01)04987123504461

